

- ◆ 大阪・関西万博の開催に伴い、海外の方と触れ合う機会が増える中、府立高校生が積極的に英語でコミュニケーションをとるマインドを高めるため、環境整備を行う。
- ◆ 府立高校全校が海外の学校と姉妹校になり、生徒が海外の同年代と交流することにより英語を話す力を高める取組を進める。

※一部支援学校でも実施予定

府立高校生の英語力向上に向けた3つのステップ

Step 1 英語を話す力の育成

AIを搭載した英語学習ツール「BASE in OSAKA」を府立高校の1年生に導入

⇒ 生徒が姉妹校との交流に必要な英語を話す力の基礎を身につける。



Step 2 1府立高 1海外姉妹校

令和7年度から順次、府立高校が海外の学校と姉妹校提携を締結

⇒ 生徒が姉妹校の生徒と英語でコミュニケーションを行う環境を構築する。



Step 3 海外短期留学

府立高校が姉妹校を訪問し、英語を話す環境に身を置き、海外の高校生とコミュニケーションをとる

⇒ 生徒の英語学習に対する意欲や英語力が向上する。



大阪・関西万博のレガシーとして、府立高校生の「話せる」英語力の向上をめざした取組みをより一層推進

- ◆「地域共生社会」の実現をめざし、大阪ウィークにおいて、子どもや高齢者、障がい者を支える福祉分野における様々な活動を紹介し、万博のレガシーとして活動を府域に広げる「OSAKAから地域共生の未来をつくる」プロジェクトを実施
- ◆この度、万博開幕に向けて機運醸成を行うとともに、本プロジェクトのキックオフとしてプレイベントを開催

プレイベント ～Road to EXPO 2025～

日時 令和7年3月17日(月) 13時～17時

定員 先着30名程度

※オンライン参加もあり(要事前申込)

場所 マイドームおおさか8階 第1・第2会議室

申込 令和7年3月3日(月)まで

申込はこちら▶



内容

▶プロジェクトの見どころ紹介

- ・折り鶴を通じて「認知症になっても輝けるまち」をめざして人や企業・団体が繋がり合う取組み
- ・さまざまな障がいのある方がアート制作を通じて人と関わる環境づくり ほか



▶万博の行き方、歩き方

- ・チケットの購入方法、アクセス、会場内の施設 ほか

▶行こうよ!万博 ～各パビリオンの魅力発信～

- ・大阪ヘルスケアパビリオン、いのちの遊び場 クラゲ館 ほか

▶大阪の子どもたちを大阪・関西万博に招待 など



中島さち子

(大阪・関西万博テーマ事業
プロデューサー(「いのちを高める」))



たむらけんじ

(お笑い芸人
阪南市ふるさと大使)

EXPO2025 大阪ウィーク～秋～

日時

令和7年9月14日(日)～15日(月・祝)

場所

大阪ヘルスケアパビリオン
イベント広場「リボーンステージ」

誰もが安心して万博に来場できるよう、万博への行き方、歩き方や各種パビリオンの魅力をわかりやすく発信!

HPVワクチンキャッチアップ接種期間の延長について

フリップ③

- ◆ 子宮頸がんは若年層の罹患も多く、大阪府内では子宮頸がん罹患患者（上皮内がん含む）のうち約4割が20代～30代。
- ◆ 現在、過去に接種機会を逃した方を対象に子宮頸がんを予防するHPVワクチンの無料接種（キャッチアップ接種）を実施中。
- ◆ キャッチアップ接種は本来、令和6年度末で終了の予定であったが、接種需要の大幅な増加に伴う、ワクチンの限定出荷の状況を踏まえ、希望する方が3回の接種を完了できるよう、経過措置として無料接種期間を1年間延長。

経過措置制度概要

■キャッチアップ接種に係る経過措置

対象 今年度16歳※～27歳の女性でキャッチアップ接種期間中（R4.4.1～R7.3.31）にHPVワクチンを1回以上接種している方が対象。

※定期接種の最終年度となる今年度16歳（高校1年生相当）の方も新たに経過措置対象となります。

費用 無料（全額自己負担で3回接種する場合、9万ほどの費用が発生。）

期間 令和7年4月1日より令和8年3月31日まで
接種には母子手帳と接種券が必要な場合があります。詳細はお住いの市町村にお尋ねください。

このような方も経過措置対象者に

- ・期間内に3回接種が完了しないことから接種を諦めていた方
- ・4月以降、残りの接種回数分を自費でご検討されていた方など

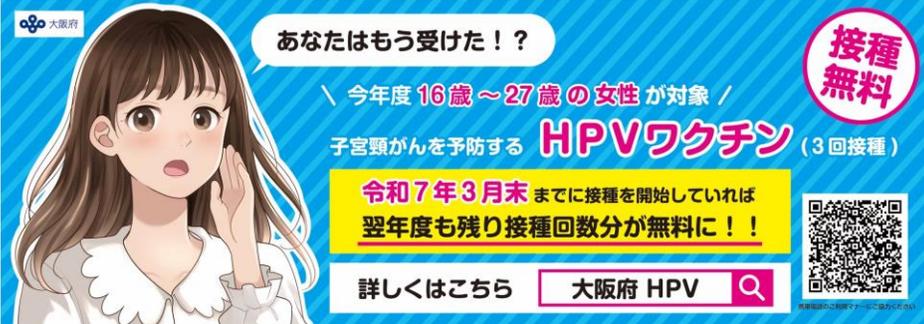
周知啓発の取組

【巨大啓発ポスター掲示】のお知らせ

（掲示場所及び期間）

大阪駅前地下道 2/10（月）～2/16（日）

阪急百貨店前地下通路 2/17（月）～2/23（日）



あなたはもう受けた！
今年度16歳～27歳の女性が対象 / 子宮頸がんを予防する HPVワクチン（3回接種）
令和7年3月末までに接種を開始していれば翌年度も残り接種回数分が無料に！！
詳しくはこちら 大阪府 HPV

キャッチアップ接種期間中に接種をしていない方へ

令和7年3月末までに接種をすれば次年度も残り接種回数分が無料となりますので、是非ご検討ください。

HPVワクチンに関してのご相談は大阪府HPV専用相談窓口（06-4397-3549）までご連絡ください！